

ドッジボールでスポーツの素晴らしさを身に着けよう —「練習は不可能を可能にする」「フェア・プレー」「よき友」—



開倫ユネスコ協会
会長 林 明夫

1. はじめに

ドッジボールをはじめ、スポーツの素晴らしさとは何か。
スポーツによって得られる「宝物」は3つあると考えます。



2. (1)まず第1は、「練習は不可能を可能にする」です。この夏、パリで開催されているオリンピックに出場している選手も、本日第7回開倫ユネスコ杯福島ドッジボール選手権大会に御出場の皆様も、練習に練習を重ね、大会に出場なさっておられます。競技を始めたころは、不可能であったことも、練習に練習を重ね、この夏パリのオリンピックに、また、本日のこの大会に出場なさるまでになりました。素晴らしいことと、心から尊敬いたします。

(2)次に、スポーツによって得られる2番目の「宝物」は、「フェア・プレー」です。オリンピック種目にも、このドッジボール大会にも、守らなければならない「ルール」があります。「ルールの中でプレーをする」これが「フェア・プレー」です。また、「卑しいプレーはしない」これも「フェア・プレー」。対戦相手や相手チームを尊敬する、「礼儀正しく」もフェア・プレーです。

(3)最後のスポーツによって得られる「宝物」は、「よき友」です。一所懸命、明日の勝利に向かって練習に励んだチームメイト、監督、コーチ、応援してくださった皆様、審判団の皆様、相手チームの皆様は、ドッジボールに励むという「同じ志」をもつ、「よき友」です。



○スポーツによって得られる3つの「宝物」、「練習は不可能を可能にする」

「フェア・プレー」「よき友」を実感しながら、今日一日がんばってください。

* <このスポーツの3つの宝> は、慶應義塾大学の塾長をなさった小泉信三先生から学ばせて頂きました。

3. おわりに—感謝のことば—

本日の大会にご参加くださいました選手・保護者・監督・コーチの皆様、そして、審判員や関係各位の皆様、ご来賓・観客の皆様、そして何よりも、本日の大会を主管して下さいます福島県ドッジボール協会の皆様、各県ドッジボール協会の皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

感謝

開倫塾 塾長
学校法人有朋学園
有朋高等学院理事長（福島）